

2020年総合生活改善 第4回中央生活闘争委員会 ＜確認事項＞

2020年3月17日
自動車総連

＜スローガン＞

新たな時代に向けて みんなで更なる一步を踏み出そう！

自動車総連は、第4回中央生活闘争委員会において以下の通り、自動車総連一体となって取り組みを進めていくことを確認した。

■回答引き出し状況

＜月例賃金＞

- ・個別賃金については、709単組が要求し、現時点において63単組が回答を引き出している。
- ・平均賃金については、賃金カーブ維持分と賃金改善分を合わせた引き上げ額全体の平均は5,321円となっている。
- ・また、賃金改善分の獲得額の平均は884円となっている。
- ・299人以下の中小単組においては、25%の単組が前年実績と同水準又は前年実績を超える賃金改善分を獲得している。
- ・加えて、個別課題の解決に向け、賃金制度改定や定年後再雇用者制度の見直し議論を実施することを確認した単組や、賃金のあり方、働き方を含めた中長期的な課題を協議することを確認した単組等、今後の継続的な取り組みに繋げる動きが着実に見られる。

＜年間一時金＞

- ・年間協定による回答を引き出した148単組における年間回答月数の平均は4.97ヵ月であり、その内、101単組が5ヵ月以上を獲得している。また、前年と月数比較可能な単組の内、62単組で前年以上の回答を獲得している。

＜働き方に関する取り組み＞

- ・多くの単組において、職場全体の生産性向上、恒常的な長時間労働の是正、及び多様な働き方の促進等、それぞれの労使の実態に即した深い話し合いが行われ、今後の具体的な取り組みにも確実に繋がっている。自動車産業の大変革期を乗り越えていくためには、こうした「働き方に関する取り組み」が通年の取り組みを通じてさらに前進することが必要である。

＜非正規雇用で働く仲間の取り組み＞

- ・進展があったとする単組の多くで、時給や日給の有額での回答引き出し、あるいは一般組合員の水準と同等またはそれ以上の賃金・一時金を獲得している。同じ職場で働く仲間の意欲・活力及び一体感の向上や、同一価値労働同一賃金の取り組み前進に繋がるなど、労働組合の社会的役割の観点からも、価値ある結果を引き出している。

■確認事項

<交渉状況>

- ☆ 自動車総連全体では、現時点で全体の18.5%にあたる201単組で妥結又は妥結方向に至っている。
- ☆ 非常に厳しい交渉環境の中でも、月例賃金において多くの組合が賃金改善分を獲得するなど、それぞれの単組が「最大限の回答」を引き出した結果、「賃上げによる人への投資」の流れを継続することができたと受け止める。
- ☆ 全体として「最大限の成果」に繋がっているのは、それぞれの単組が自らの要求に基づく「賃上げによる人への投資」の必要性を力強く訴え、最後の最後まで行った交渉の追い上げによるものと考ええる。
- ☆ 一方、日々悪化する交渉環境を背景に、賃金改善分未獲得組合は昨年より増加。また一時金についても季別回答・付帯事項について言及する経営が昨年より増加しており、こうした傾向はこれから本格化していく中堅・中小単組の交渉においても継続することが想定されることから、下記観点に基づき取り組みの追い上げを図っていく。

<今後の進め方>

各単組・労連および自動車総連本部は、交渉環境の厳しさを改めて認識した上で、「賃上げによる人への投資」の流れを確実に継続すべく、最後の最後まで自動車総連一体となって取り組むこととする。

○全体

- ・中堅・中小単組の取り組みにおいては、改めて主要単組の回答引き出し状況を踏まえ、第3回中央生活闘争委員会(3/7)にて確認した「回答引き出しに向けた基本態度」のもと「賃上げによる人への投資」の流れを継続すべく取り組み、「最大限の回答」を引き出す。
- ・年間一時金については、改めて組合員のより一層の安心・安定感の確保に繋げるべく、年間協定にこだわって交渉を進めていく。
- ・解決時期については、集中的な回答引き出しによって共闘効果を高めるべく、自動車総連全体の目標である3月末決着を強く意識して取り組む。回答引き出しが遅れる場合においては、一日でも早い解決に取り組み、遅くとも4月末までには全ての単組での決着を図る。

○各単組

- ・現在も交渉が続いている全ての単組は、「回答引き出しに向けた基本態度」に則り、「自らの要求」を十分に満たしうる最大限の回答を引き出すべく、最後の最後まで交渉を追い上げる。
- ・とりわけ、単年度で解決できない課題については、具体的な会社の考えを確認することで、今後の取り組みに確実に繋げる。

○各労連及び自動車総連本部

- ・各労連は、加盟する中堅・中小単組における「最大限の回答」引き出しに繋げていくべく、具体的な戦術やサポートを展開する。(特に複数年連続で賃金改善分の獲得に至っていない単組、および企業内最低賃金協定の未締結単組)
- ・自動車総連本部は、各単組・労連の取り組みを後押しすべく、組織内外に対し、回答引き出し状況について、タイムリーかつ効果的な情報発信を行う。

■ 回答引き出しに向けた基本態度 (第3回中央生活闘争委員会<確認事項>再掲)

☆自動車総連は、最大限の回答を引き出すべく、自動車総連一体となって粘り強く交渉を追い上げていくことを確認する。

☆今次交渉は一年間の総決算であることを踏まえ、新型コロナウイルスの影響とは一線を画し交渉に臨むこととする。

<月例賃金>

○全ての単組は、自らの要求に基づく「賃上げによる人への投資」の必要性について労使共通の認識に立った上で、その要求を十分に満たしうる最大限の回答を引き出すべく、最後の最後まで交渉を追い上げる。

○単年度で解決できない課題については、賃金制度の見直しや専門委員会の設置など具体的な会社の考えを確認することで、今後の取り組みに確実に繋げる。

○回答に向けては、賃金以外の「人への投資」など、他の労働条件と混合することなく、賃金要求は賃金要求としてこだわる。

○自動車総連本部及び各労連は、各単組の「賃上げによる人への投資」を求める強い意思を形にすべく、具体的な戦術・サポートの展開、回答引き出し状況の速やかな収集・分析・共有等を行う。

<企業内最低賃金>

○企業内最低賃金が自社の魅力向上・人材確保のみならず、自動車産業や社会全体の底上げ・底支えに繋がることを強く意識し、協定の新規締結・水準の引き上げ・対象者の拡大に向けた最大限の回答を引き出す。

○とりわけ協定未締結単組については、協定の新規締結を確実に実現させる。

<年間一時金>

○組合員の努力・頑張りに報い、更なる意欲・活力に繋げていくためにも、満額獲得に向け、最後まで押し込む。

○組合員の生活の安心・安定感の観点から、年間協定にとことんこだわる。

<働き方に関する取り組み>

○職場全体の生産性向上や恒常的な長時間労働の是正を図るべく、今次交渉を通じ労使で議論した、職場風土や60歳以降の働き方等の課題について、解決に向けた回答を引き出すとともに、今後の取り組みに確実に繋げる。

<非正規雇用で働く仲間に関する取り組み>

○同一価値労働同一賃金を強く意識し、労働諸条件改善の取り組みが一步でも二歩でも前に進む回答を引き出す。

○賃金改善については具体的な有額での回答引き出しを図り、同じ職場で働く仲間の意欲・活力の向上に繋げていく。

<早期決着に向けた取り組み> ※2月6日 第1回中央生活闘争委員会<確認事項>再掲

○自動車総連全体のヤマ場を3月11日(水)から3月20日(金)までとし、この間で、各単組・労連は、集中的な回答引き出しに最大限努力する。

○主要単組における集中回答日は3月11日(水)とし、午前中に要求項目の同時回答を引き出す。

○全ての単組は3月末解決を目指し、遅くとも4月末までの解決に強力に取り組む。